

プログラミング演習1

課題4:アセンブリ言語

第4回 レポート課題のフィードバック 授業評価アンケート

2017年7月25日

- 座席は自由です
- 講義資料ページを開いておく
- WebClassで出席を登録する準備

レポート課題

- 初回レポートのチェック結果
 - ⇒ 7/24 (月) 15時にWebClass上に反映

- 書式修正版レポートの提出
 - 初回レポートへのコメントをもとに修正
 - 提出締切: 7月28日 (金) 17:00

書式修正レポートでも合格要件を満たさない場合は、十分な修正がされるまで何度でも再提出

レポート課題のフィードバック

- 表紙, 章立て, 図表番号, 参考文献, ページ番号
 - 表紙: すべての項目がチェックされていない場合が多い
 - 章立て: 章番号 (1章, 1.1節, 1.1.1項など) が無記載
 - 図表番号: レポート中の図表は本文中で引用する
ソースリストは図表ではなく「リスト」
図のキャプションは下, 表のキャプションは上
 - 参考文献: 最低でも1件以上を参照する
文献には参照番号 ([1]など) をつける
 - ページ番号: 未記入の場合が多い, 必ず記入を

レポート課題のフィードバック

□レポート課題1

- そもそも「フラグとはなにか？」の説明が不足
- 例を5つ挙げて説明する

□レポート課題2

- 例に挙げたプログラム (課題4) のソースを記載する
- 「マスク処理とは何か」を説明する
- 数行の解説では不十分

レポート課題のフィードバック

□ レポート課題3

- 文字列0と数値を加算すると文字列が得られる理由が必要
- 16進数でAからFを出力する場合に7を加算する理由も説明
⇒ 文字コード表との対応を説明する
- 数行の解説では不十分

□ レポート課題4

- 最大値/最小値を正しく求める
- 最大値/最小値がその値になる理由は何か、説明が必要
- 数行の解説では不十分

レポート課題のフィードバック

□レポート課題5

- 例に挙げたプログラム (課題6) のソースを記載する

- 実際に算術加算命令によるインクリメントを実装する

 - ⇒ LAD命令によるインクリメントとの比較, 利点の考察

- 数行の解説では不十分

レポート課題のフィードバック

□ レポート課題6

□ 章立てを守る

□ 6.1 目的

□ 6.2 概要

□ 6.3 データ構造

□ 6.4 アルゴリズムの説明

□ 6.5 フローチャート (メインルーチン, サブルーチン)

□ 6.6 ソースリスト

□ 6.7 実行結果

□ 6.8 考察

レポート課題のフィードバック

□ レポート課題6

□ 6.3 データ構造

- すべてのDC, DSについて説明が必要

□ 6.4 アルゴリズムの説明

- メインルーチン, サブルーチンともフローチャートを記載する
- メインルーチン, サブルーチンそれぞれのアルゴリズムを説明
- 引数や戻り値, 処理の内容について詳細に説明する

レポート課題のフィードバック

□ レポート課題6

□ 6.5 フローチャート (メインルーチン, サブルーチン)

- 処理の流れを表す線は箱の上から入力する
- 条件分岐はひし形, Yes, Noの出力分岐を正しく記載する
- 条件分岐で線が合流する箇所は矢印を用いる
- 入力, 出力の線は交差させない

レポート課題のフィードバック

□ レポート課題6

□ 6.6 ソースリスト

□ フローチャートの内容と合致しているか

⇒ フローチャートの修正 or ソースの修正

□ 各レジスタの役割は何か

□ 命令の意図は何か

□ 分岐時のフラグ状態, 分岐条件の説明が必要

レポート課題のフィードバック

□ レポート課題6

□ 6.7 実行結果

□ 実行結果の記載だけではなく、説明が必要

□ 素数, 素数以外の数等の入力をして実行しているか

⇒ 「負の数, 0, 1, 2, 素数, 素数以外」の6パターンがある

□ 6.8 考察

□ 実行結果の説明ではなく「考察」を書く必要がある

□ 数行では不十分

レポート課題のフィードバック

□レポート課題7

- 数行の解説では不十分
- どのレジスタを使用して、何を渡しているのか説明する
- レジスタはどのような動きをしているのか
- サブルーチンをどのように呼び出しているのか

□レポート課題8 (任意)

- 取り組んでいない人は全員「×・未実施」となっている
- 取り組んでいる人は加点